



平成 30 年 2 月 13 日

各 位

会社名 日本信号株式会社
 代表者名 代表取締役社長 塚本 英彦
 (コード番号：6741 東証第一部)
 問合せ先 総務部長 藤本 浩正
 (TEL 03-3217-7200)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 11 月 7 日に開示した平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	88,000	6,000	7,000	4,500	67.86
今 回 発 表 予 想 (B)	84,000	2,100	3,100	2,000	30.63
増 減 額 (B-A)	△4,000	△3,900	△3,900	△2,500	—
増 減 率 (%)	△4.5	△65.0	△55.7	△55.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	82,134	4,269	5,228	3,500	51.59

注) 「1 株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想では平成 29 年 3 月 31 日現在の発行済株式数 (自己株式数を除く) を、今回修正予想では平成 29 年 12 月 31 日現在の発行済株式数 (自己株式数を除く) をそれぞれ使用しております。

2. 修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間において、当社グループは、各種鉄道信号システムの他、道路交通安全システム、駅務ネットワークシステム、パーキングシステムソリューションなどの製品において積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めてまいりました。

しかしながら、売上高については当初予定していた案件の立ち上がりの遅れにより、期初の想定を大きく下回って推移する見通しです。利益面については売上高の減少に加え、交通運輸インフラセグメントの一部の案件で当初の予想を超える初期的な開発費が発生したことなどにより、期初の想定を下回る見込みです。

このような事業環境および当第 3 四半期連結累計期間までの連結業績を踏まえて、通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上